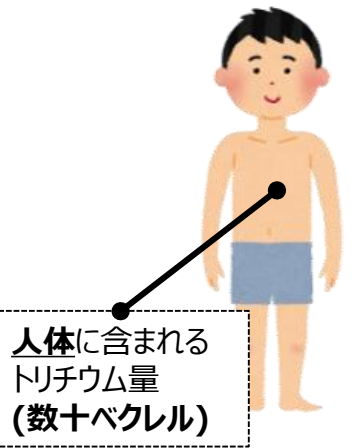


# ALPS処理水の処分に関する政府の対応について

- ◇ 政府は、東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水を、2年程度の準備期間を経て、**安全性を確保し、政府を挙げて風評対策を徹底**することを前提に、**海洋放出する方針を決定**しました。
- ◇ **福島の復興には**、福島第一原発の**廃炉の進展が不可欠**。廃炉を**安全に**進めるためには、ALPS処理水の処分が必要です。
- ◇ 処分に当たっては、風評影響が懸念されますが、産業や生業の復興に取り組んできた方々の努力を無にすることのないよう、徹底した**風評影響の払拭**に取り組めます。

トリチウムは水道水や食べ物などにも日常的に存在します。



人体に含まれるトリチウム量 (数十ベクレル)

日本に降る雨に含まれるトリチウム量 (約220兆ベクレル/年)

福島第一原発で海洋放出するトリチウム量 (約22兆ベクレル/年)

国外の原子力施設での例  
 古里原発(韓) 1978年～ (約50兆ベクレル/2018年)  
 ラーグ再処理施設(仏) 1976年～ (約1.1京ベクレル/2018年)

世界保健機関 (WHO) の飲料水水質ガイドラインにおけるトリチウム濃度 (1万ベクレル/リットル)

福島第一原発で海洋放出するトリチウム濃度 (1500ベクレル/リットル)

参考  
 国内規制濃度基準 (6万ベクレル/リットル)

7分の1

40分の1

## 風評影響への対応に向けた今後の取組

科学的な根拠に基づくわかりやすい情報発信を行います

国際機関と協力し、モニタリングを拡充・強化します

水産業をはじめ、風評影響を受け得る産業の販路拡大・開拓支援を行います

風評被害が生じた場合には、セーフティネットとしての賠償により対応します